

きいじょうあと 基肄城跡

所在地/筑紫野市・佐賀県基山町
指定/特別史跡



基肄城土塁跡



基肄城南門石塁跡

きいじょうあと
基肄城跡は、大宰府政庁跡から南に約8 km行った基山（高さ404m）に造られました。大野城跡と同じ約1350年前の8月に、憶礼福留と四比福夫の技術指導によるものです。ですから、完成までにはほぼ2年かかっています。基肄城跡は大野城跡よりやや小さく、約4.4 kmの大きさです。つくりは大野城跡と同じで、尾根線を土を固めて造った土塁でつなぎ、三ヶ所の谷部には石を積み上げた石垣を築いています。中でも、南門石垣は長さ26m、幅10・9m、高さ8.5mと大きなもので、下には水を通すための水門を設けています。背中をまげると大人でも通れるくらいの大きさです。なお、城内には約40の建物があり、米などを蓄えていました。米倉礎石群に行くと、今でも黒っぽくなっています。

すが、当時のお米をひろうことができます。

水城跡・大野城跡・基肄城跡は、外国の軍隊（唐や新羅）が攻めてくるのを防ぎ、大宰府を守るために造られた施設です。造られてから1350年ほどたっていますが、大きくこわれることもなく、当時のすがたがよく残っており、当時の技術力の高さが分かります。

【もっとくわしく調べたい】

- 九州歴史資料館 小郡市三沢 5208-3 Tel. 0942-75-9575
- 基山町立歴史民俗資料・図書館 佐賀県三養基郡基山町宮浦 350-6

【基肄城跡に行ってみよう】

- JR基山駅から車で約15分